

2021年5月10日

京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA_F)

京都大学 iPS 細胞研究財団 初の国外提供

韓国・CHA 医科学大への HLA ホモ iPS 細胞ストック提供が決定

公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団®(所在地:京都市左京区)は、韓国の CHA(チャ)医科学大学との間で2021年4月14日、下記を目的とする共同研究契約を締結しましたので、ここにお知らせいたします。

・京都大学 iPS 細胞研究財団から CHA(チャ)医科学大学への、iPS 細胞ストックの提供



京都大学 iPS 細胞研究財団
理事長 山中伸弥



CHA 医科学大学
宋知煥(ソン・ジファン)教授

1. 内容

当財団で製造している HLA ホモ iPS 細胞ストックの研究用株を、今回初めて海外の研究機関に提供することとなりました。提供先である韓国・CHA(チャ)医科学大学の宋知煥(ソン・ジファン)教授は、主に iPS 細胞を用いてハンチントン病、パーキンソン病、アルツハイマー病、脳卒中などの複数の神経変性疾患に対する幹細胞治療法の開発を研究しています。宋教授のグループは、当財団の iPS 細胞ストックを用いてこれらの疾病を研究し、その後、あらためて同 iPS 細胞ストックの臨床用株の入手を予定しており、2025 年までに臨床試験を行うことを目指しています。

2. 背景

iPS 細胞ストックプロジェクトは、2013 年から CiRA において国家プロジェクトとして実施され、2020 年 4 月の当財団の本格的な活動開始に伴い、当財団へ移管されました。これまでに医療応用を目的とした 27 種類の HLA ホモ iPS 細胞ストックを作製し、国内の研究機関に提供してきました。実際にこの iPS 細胞ストックを用いた臨床研究として、神戸市立神戸アイセンター病院の加齢黄斑変性や、京都大学医学部附属病院のパーキンソン病を対象とした研究などがあります。また、当財団では、iPS 細胞を用いた治療を広く世の中に普及するため、iPS 細胞提供を事業として展開するにあたり、作製した iPS 細胞の「医薬品等の製品化」や「臨床研究や治療に用いること」に関してあらかじめ血液提供者(ドナー)から同意を取得しています。また製造した iPS 細胞ストックの品質評価も十分に行ったうえで出荷を行っています。これらのことが総合的に評価され、今回 CHA(チャ)医科学大学から iPS 細胞ストック提供の依頼を受けるに至りました。

3. これまでと今後の流れ

① 契約締結

CHA(チャ)医科学大学と当財団は、当細胞提供において共同研究契約を、2021年4月14日に締結しました。

② 当財団ストックを用いたCHA医科学大学での研究期間

細胞到着後～2021年7月29日まで(延長の可能性あり)

4. 公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団(CiRA_F)について

当財団は、最適なiPS細胞技術を良心的な価格で届けることを理念として掲げ、国立大学法人京都大学から独立して2020年4月に活動を開始した公益財団法人です。京都大学iPS細胞研究所(CiRA)が2013年度から実施してきた再生医療用iPS細胞ストックプロジェクトについて、事業譲渡を受け、引き続き推進しています。このプロジェクトでは、HLA(ヒト白血球型抗原)型を、ホモ接合体(免疫拒絶反応が起きにくい組み合わせ)で持つ健康なドナーからiPS細胞を作製し、あらかじめ様々な品質評価を行った上で、再生医療に使用可能と判断できるiPS細胞株をアカデミア・企業等の皆様に提供しています。当財団は、iPS細胞を用いた製品の製造、品質評価、保管等の受託や、製造に関するSOP(標準作業手順書)の公開等に取り組み、再生医療の実用化に貢献します。

5. CHA医科学大学について

CHA医科学大学は1996年に医科大学として設立され、現在では幹細胞や再生医療、生殖医療に特化した健康科学分野において韓国を代表する名門大学です。CHA医科学大学とCHA医療財団は、ES細胞と間葉系幹細胞(MSC)を用いた活発な研究と臨床応用が有名な機関です。

お問い合わせ先:

■iPS細胞ストックに関するお問い合わせ先:

京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA_F)

広報室 中上依美里(なかうえ えみり)

TEL: 075-761-3357

Email: contact@cira-foundation.or.jp

■研究内容に関するお問い合わせ先:

CHA 医科学大学 医生命科学科

宋知煥(ソン・ジファン)教授 ※英語もしくは韓国語

TEL: +82 31 881 7140

Email: jsong@cha.ac.kr